



コラボレーション

# Collaboration

令和6年度  
貝塚市立第三中学校  
校長室だより

5月20日号

## よろしくお願ひします

この4月から三中の校長になりました山下と申します。どうぞよろしくお願ひします。

私は第三中学校を、あたたかい学校にしたいです。

子どもにとって、保護者の方にとって、地域の方々にとって、そして教職員にとってもあたたかい学校にしたいです。

子どもにとって、友だちとのつながりを感じることができる学校、困ったことや不安なことを先生や身近な人に聞いてもらえる学校、いろいろな人に見守ってもらい、安全に、安心して過ごせる学校にしたい、と考えています。

保護者の方にとって、子育てに悩んだ時、子どもとのコミュニケーションに不安を感じた時に、気軽に相談できる学校にしたい、と考えています。

地域の方々にとって、子どもを育てる基地として、地域の方々と交流する基地として、いつでも立ち寄ることができる学校にしたい、と考えています。

教職員にとっても、子どもたちと共に過ごし、子どもたちの頑張る姿に喜びと元気をもらいながら、生きがいを持って働ける学校にしたい、と考えています。

教職員、保護者の皆様、地域の皆様と協力して、第三中学校をさらに良い学校、あたたかい学校にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 異動報告

4月に以下のように異動がありました。報告します。

### 1. 転出者

※ 個人情報に関わるので、HPでは消しています。

## 2. 転入者

※ 個人情報に関わるので、HP では消しています。

## 3. 復帰

※ 個人情報に関わるので、HP では消しています。

### スクールカウンセラーを活用してください

#### 【スクールカウンセラーの紹介】

スクールカウンセラーのうくも綾子です。よろしくお願いします。

人の心は見えませんが、スマホや携帯電話などで使われているバッテリーのように考えることができると言われています。おいしいものを食べて、ぐっすり眠ると心のエネルギーが充電されます。一方で、頑張り過ぎたり、失敗して非難されたりするとエネルギーが減ります。心のエネルギーが足りないときは、無理をせずに休養をたっぷり取ってください。

心のエネルギーをチェックしたい時はもちろん、ちょっと相談したいことがある時や気持ちを整理したい時など、気軽に声をかけてください。

#### 【保護者の皆様へ】

お子様の行動にとまどう時や気になるサインがある時は、一緒に考えさせていただければと思います。お気軽にご活用ください。

相談方法：担任の先生か学校へご連絡ください。

相談日時：金曜日 10:00～17:00

### 三中のホームページをご覧ください

第三中学校のホームページでは、子どもたちの様子やお知らせなど、様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

WEB ページ <http://www.kaizuka.ed.jp/dai3-jh/>

貝塚第三中学校 HP



貝塚第三中学校 HP

貝塚第三中学校 HP

貝塚第三中学校 HP

学校に来られた際には、必ず職員室に声をかけていただき、ご用件をお伝えください。

## 「私の第一声③」

### 【前三中校長の最後のメッセージ】

私は、2020（令和2）年4月に貝塚市立第三中学校に校長として赴任し、4年間、三中校区の保護者や地域の皆様にたいへんお世話になりました。地域の支えなしには考えられないほど三中は皆様のご協力で成り立っているのですが、とかく敷居の高いといわれる中学校のことについて、少しでも知っていただける方法はないかと考えていました。思いついたのが、裏面が空いていた校長だより「Collaboration コラボレーション」を活用することでした。コラムを不定期に連載し、教員としての経験や校長としての思いを書かせて頂きました。

2020（令和2）年7月にNo.1を「私の第一声」と題して、自分の生い立ちから書き始めたのですが、同じ7月に私が脳出血を発症し、長期入院で中断となりました。大変なご迷惑を関係の皆様におかけした後、2021（令和3）年1月に何とか学校に復帰しました。久しぶりにお会いする保護者や地域の方から、温かい励ましのお言葉をいただいた際「体のこととか聞きたいけど、失礼になったらと思って尋ねにくいねん」と教えて頂きました。それなら、この不定期コラムでお伝えするのがよいだろうと考え、No.2から「三中校長脳卒中で倒れちゃった」と題して倒れた時の状況や感じたこと、入院中の絶望した瞬間や周りに支えていただいた感謝の気持ち、リハビリの様子、障がい者となって気づいたこと、日常生活の実際など、包みかくさず書きました。

ある程度書いた後、「私の第一声」に戻して、学校に関わることを中心に不定期コラムを続け、このNo.50まで書かせていただきました。

ある年の卒業式の終わった後、卒業生のお母さんが校長室を訪ねて来られました。「私の親族に、脳梗塞で倒れた者がおり、校長先生の経験された1つ1つの場面が、親族の様子と重なり、毎回泣きながら読んでいます。校長先生の職場復帰に励まされ、毎回コピーをとって親族に励ましの意味で渡しています」とおっしゃっていました。

ある日、ハガキが届きました。この校長だよりは、全戸配付か回覧により、三中校区の全町会で読んでいただいているのです。地域の方からのお手紙で

した。体が不自由になっても勤務を続けていることと、二浪したことなど自分の失敗談や本音を赤裸々に書いていることについて、とてもよいのでこのまま続けてほしいという応援の内容でした。

左足を引きずって歩くので、地域の方にも校長とわかっていただけるでしょう。三中の近くを歩いていると、何度も「校長先生ですか？」と声をかけられ、コラムの感想を伝えていただくことができました。

私の病気のことではありません。貝塚の中学校の合唱コンクールの歴史を書けば、「その頃、私は、○中の○年生でした。○○先生にお世話になりました」、私たちの年代が経験したテレビゲームのことや昔の夏休みの様子を書けば、「私もカセットビジョンやってたよ!」、「昆虫採集キット、怖かったね!」など、話しかけていただいた方のそれぞれの人生についても教えていただきました。中には、私の母親と同じ鹿児島にルーツがあり、同時期に集団就職で大阪に来られた母のいる方もおられました。思い出せるだけでも、合計30人以上の方からコラムのことで話しかけていただいたように思います。

大人だけではありません。忙しさに紛れて、しばらくコラムを書けなかった昨年、三中の女子生徒から、「校長先生、私、ずっとあれ読んでるで。最近、ないやん。次、いつなん?」と言われました。その日から、その子は会うたびに、「早く!」と言ってくれました。生徒との接点の少ない私にとって、とてもうれしい出来事でした。このメッセージを読んでくれたらお礼を伝えたいです。ありがとう。

さて、そろそろ終わりに近づきました。現在、私は市役所に職場が変わり、学校だけでなく貝塚市全体の教育に関する調整をしています。三中での経験とさまざまに学ばせていただいた知見を活かし、今後も、子どもたちをはじめ貝塚市民の幸せのために努力していきます。

それでは、新しい校長先生の元、今後も三中をよろしく願います。ふるさとを大切にする三中校区の生徒・保護者・教職員・地域みなさんが、幸せにお過ごしになることを祈っています。いずれまた、どこかでお会いできることを楽しみにしています。さようなら。

**【このNo.50が最終号です。4年間お読み頂きありがとうございました】**